



『輝く個性と豊かな心で、美瑛の未来をたくましく拓く人を育てる』

美瑛町学校教育方針

基本目標

『生涯学び続ける基礎となる「生きる力」を身につけ、自然豊かで潤いのある美瑛を担う人を育て、学校教育の推進』

推進目標

- 学ぶ楽しさや、わかる喜びを実感できる学びの指導を（知育）
- 他者との関係を豊かにし、自他の生命を大切にすることの指導を（徳育）
- 健やかで、たくましく生きる力を育てる健康の指導を（体育）

学校経営の重点

『学ぶ力を育てる』

【社会で生きる力の育成】

- ①確かな学力の育成
- ②ICT機器を活用した教育の充実
- ③支援教育の推進
- ④外国語活動・外国語科やキャリア教育の充実

目標指標

- ①全国学テ・学習状況調査、チャレンジテストで全道平均↑、全学年 CRT 検査前年度より2P↑
- ②日常的にICT機器を活用した授業を実施100%
- ③支援教育の視点を踏まえた支援委員会の実施:年4回
- ④「専科の先生と学習することにより外国語の学習がよく分かる」とする児童80%↑

具体方策

- ①少人数習熟度別指導や専科教員との連携及びサポート問題や過去問題の確実な実施
- ②ICT担当を中心とした実践ミニ研修やプログラミング教育を取り入れた授業、ICTを活用した授業の公開
- ③実態把握をもとにしたアセスメントの実施とUD(ユニバーサルデザイン)を意識した指導の実践
- ④外国語教育指導教師による指導及び授業公開と協議による指導力向上

【豊かな人間性の育成】

- ①道徳教育の充実
- ②ふるさと学習の充実
- ③読書活動の推進
- ④コミュニケーション能力を高める学習活動の充実

目標指標

- ①全学級による「特別の教科 道徳」の授業公開及び交流(研修または参観授業)
- ②「ふるさと教育を通して美瑛町を理解できた」とする児童70%↑
- ③前年よりも児童が図書室で本を借りた冊数↑
- ④研究主題に基づく授業を全学級で公開

具体方策

- ①道徳の学習で活用したワークシートを保管し、児童の道徳性の成長や変容を前向きに捉える。また、参観日にて道徳の学習を公開する。
- ②体験的な活動を積極的に取り入れた「ふるさと学習」の実践
- ③朝学習や読み聞かせ、長期休業に向けての読書指導、図書館やボランティアと連動した取り組みの積極的活用
- ④研修部の年間計画及び自主的な授業公開の促進

【健やかな体の育成】

- ①体力・運動能力の向上
- ②食育の充実
- ③健康教育の充実
- ④規則的な生活習慣の確立

目標指標

- ①児童の運動への意欲85%、将来(中学校に進んだら)、自主的に運動やスポーツをする時間を持ちたいと考える児童65%↑
- ②給食指導、特別活動等での食に関する指導を各学年年間4回実施
- ③手洗い・うがいを積極的に行ったとする児童82%↑
- ④起床・就寝時間や朝ご飯等、生活習慣を意識しているとする児童82%↑

具体方策

- ①①体育授業や体力向上を目指す取組の改善、運動を日常化するための取組の工夫
- ②年間指導計画に沿った食に関する指導の実施
- ③健康を守る基本の手洗い・うがいを徹底する全学的な取組の推進(朝、給食前、掃除後)
- ④規則正しい生活習慣確立のために保健体育や学級活動、道徳における指導及び保護者への呼びかけ

【学びを支える地域・家庭との協働】

- ①家庭との連携強化
- ②地域との連携・協働の充実(コミュニティー・スクールの充実)
- ③放課後子ども教室「なかよし児童館」との連携
- ④地域・家庭と協力した安全な環境づくり

目標指標

- ①ノーTV、ノーGAME日の確実な設定(年3回)
- ②学校運営協議会の年4回実施及び地域と一体となった活動の実施
- ③児童館との定期的な情報交流(隔週)、生徒指導上課題を抱える児童の情報共有(随時)
- ④登下校時における交通事故等件数0

具体方策

- ①上川スライド30と合わせた保護者への啓発活動
- ②学校運営委員への学校行事参加の働きかけ、学校だよりの配布
- ③訪問交流、行事参加への依頼、学校だよりの配布
- ④「PTA安全安心あいさつ見守りカレンダー」による安全な環境づくり

【学びをつなぐ学校づくりの推進】

- ①町教育推進協議会との連携
- ②資質向上を目指す教員の研修
- ③学校運営の改善
- ④幼小の連携(スタートカリキュラムの編成)

目標指標

- ①町内の教育機関への授業参観(一人年2回)、小中交流学習事業の実施(年3回)、小規模校との交流(年3回)
- ②全教員による授業公開(校内研修・研究)
- ③組織マネジメントの充実を図る学校評価、保護者・児童アンケートの実施(年2回)
- ④町内幼児との交流学習を年3回実施、及び教務主任とCOによる引継ぎの実施

具体方策

- ①異校種間連携及び小中交流学習(出前授業)の実施
- ②計画的な研究授業及びブスツディアーム、ミニ研修等の実施
- ③適切な改善を目指すための評価項目の設定
- ④スタートカリキュラムによる幼保保護者への啓発、及び交流内容の充実や活動中の確実な見とり

目指す学校の姿

「和而励」(和して励む)
 ◇「美瑛小児童の和」に満ちあふれる学校
 ◇「保護者・地域・学校の和」が開かれた学校
 ◇「教職員の和」がある学校

目指す子どもの姿

◇自ら学ぶ子(やる気)
 ◇支え合う子(こん気)
 ◇たくましい子(げん気)

【学びの基礎を育む全校活動】

- ◇基礎学習タイムによる基礎基本の充実
- ◇新しい時代に求められる資質・能力を育成する授業づくり
- ◇ICT機器を活用したきめ細やかな授業の充実
- ◇共通理解に基づく学習過程・学習規律を大切に学習の充実
- ◇わかりやすい「家庭学習の手引き」を活用した家庭学習の充実

- ①子どもが学年×10分+10分家庭学習を行うようにします。
- ②ゲーム・テレビの時間を子どもと話し合って決定します。

【地域環境を生かした「美瑛体感ふるさと学習」】

- ◇農業体感ふるさと学習
 - ・花、野菜の栽培活動
 - ・農作業体験
 - ・農業体験施設活用
- ◇自然体感ふるさと学習
 - ・公園の生き物とのふれあい・白金地区の自然探索
 - ・山岳や丘の自然魅力発信
- ◇世代体感ふるさと学習
 - ・まなび館活動
 - ・施設体感活動
 - ・福祉体感活動

- ①住んでいる町のよさを様々な体験を通して子どもたちに発見させます。
- ②学校であったことについて子どもと話す時間を必ず作ります。

【命を守り育む健康安全教育】

- ◇防災教育
 - ・十勝岳火山学習
 - ・十勝岳防災施設学習
 - ・北海道シェイクアウトへの参加
- ◇食育
 - ・食の大切さを育む食に関する指導・食習慣の定着を図る給食指導・自然の恵み味わう行事給食
- ◇安全指導
 - ・命を守る避難訓練
 - ・安心安全あいさつ見守り隊
 - ・通学路安全マップ

- ①子どもが早寝・早起き・朝ごはんに努めるようにします。
- ②しっかりと睡眠がとれるように子どもの生活リズムを見取ります。

【家庭・地域と連携した開かれた学校】

- ◇教育機能を活用した連携
 - ・家庭学習充実週間の児童館との連携
- ◇夢を育むキャリア教育
 - ・アスリートによる夢先生
 - ・地元陶芸家による陶芸教室
 - ・「みん☆と」による読み聞かせ
- ◇学校運営協議会との連携による学校評価
 - ・年2回の自己評価、保護者・児童アンケート

- ①PTA行事・地域行事に子どもと一緒に参加します。
- ②美瑛小学校児童を自分の子どもだと思って接します。

【学びを保障する学校づくり】

- ◇小中高との連携による授業交流や職員研修の充実
- ◇教職員の資質向上を目指した教育の不易と流行を読んだ研修活動の充実
- ◇多忙化改善のための校務運営の効率化と業務推進状況の確認
- ◇幼小のスムーズなつながりを意識した教育活動

- ①町や学校で行われる子育ての研修会などに積極的に参加します。
- ②子どもの模範となる親となるよう努力します。